

6

住宅の気密性能試験結果 (1)

依頼者	会社名又は氏名 住 所	電話																							
測定対象建物の概要																									
<p>建物の名称 [REDACTED]</p> <p>所在地 [REDACTED]</p> <p>竣工年月日 2025年7月</p> <p>構造及び工法 在来木造工法</p> <table border="0"> <tr> <td rowspan="2">建築基準法 上の 延べ床面積</td> <td>地階床面積</td> <td>0.00 m²</td> </tr> <tr> <td>1階床面積</td> <td>[REDACTED] m²</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(A)</td> <td>2階床面積</td> <td>[REDACTED] m²</td> </tr> <tr> <td>3階床面積</td> <td>0.00 m²</td> </tr> <tr> <td></td> <td>延べ床面積</td> <td>[REDACTED] m²(A)</td> </tr> </table> <p>窓 引き違い窓 ○ 内り出し窓 ○ 外開き窓 ○ 片引き窓 —</p> <p>開口部の仕様 玄関戸 外開き戸 ○ 内開き戸 — 片引き戸 — 引き違い戸 —</p> <p>その他(構成と閉鎖方式)</p> <table border="0"> <tr> <td rowspan="2">主な部位の 気密層の仕様</td> <td>屋根 防湿フィルム ○(気密テープ使用)</td> <td>透湿防水シート ○(気密テープ不使用)</td> </tr> <tr> <td>天井 合板・PB等の面材 ○(気密テープ不使用)</td> <td>ボード状断熱材 —</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">外壁 外壁吹付けウレタン</td> <td>—</td> <td>木材、コンクリート等 —</td> </tr> <tr> <td>床 その他</td> <td></td> </tr> </table> <p>基礎断熱 土台と基礎の取り合い — その他</p> <p>設備廻り ユニットバス ○(基礎断熱部で気密) 設備配管 ○(コーキングで気密)</p> <p>建物概要図 別紙添付図面の通り</p> <p>通気量を測定した位置 添付平面図に示す</p>			建築基準法 上の 延べ床面積	地階床面積	0.00 m ²	1階床面積	[REDACTED] m ²	(A)	2階床面積	[REDACTED] m ²	3階床面積	0.00 m ²		延べ床面積	[REDACTED] m ²(A)	主な部位の 気密層の仕様	屋根 防湿フィルム ○(気密テープ使用)	透湿防水シート ○(気密テープ不使用)	天井 合板・PB等の面材 ○(気密テープ不使用)	ボード状断熱材 —	外壁 外壁吹付けウレタン	—	木材、コンクリート等 —	床 その他	
建築基準法 上の 延べ床面積	地階床面積	0.00 m ²																							
	1階床面積	[REDACTED] m ²																							
(A)	2階床面積	[REDACTED] m ²																							
	3階床面積	0.00 m ²																							
	延べ床面積	[REDACTED] m ²(A)																							
主な部位の 気密層の仕様	屋根 防湿フィルム ○(気密テープ使用)	透湿防水シート ○(気密テープ不使用)																							
	天井 合板・PB等の面材 ○(気密テープ不使用)	ボード状断熱材 —																							
外壁 外壁吹付けウレタン	—	木材、コンクリート等 —																							
	床 その他																								
測定時の建物条件																									
部位	方法	確認	特記事項(左欄以外の処理方法)																						
1 建物外皮にあるドア・窓	ロツク(施錠)	○																							
2 天井・床下改め口	普通に閉めた状態	なし																							
3 郵便受け	普通に閉めた状態	なし																							
4 車庫に通じるドア	普通に閉めた状態	なし																							
5 基礎と床の両方を断熱している地下へ通じるドア	普通に閉めた状態	なし																							
6 換気レジスター	目張り	○																							
7 台所レンジファン	目張り	○																							
8 換気扇・天井扇	目張り	○																							
9 FF式以外の煙突の穴	目張り	なし																							
10 屋外へ通じる排水管	封水または管口を目張り	○																							
11 集中換気システムの給排気ダクトの屋外側出入口	目張り	なし																							
12 建物外皮の外側にある開口部	普通に開けた状態	なし																							
実質延べ床面積の算出																									
(A) 建築基準法上の床面積	112.61	m ²																							
除外する床面積 (B)	測定対象外にした部分(空間)の名称 無し		気密性能から除外された部分(車庫、地下室等)																						
	延床面積(A)から除外する床面積	0.00 m ²																							
	天井ふとろの相当床面積	0.00 m ²	天井ふとろ容積/2.6m																						
	吹抜けの相当床面積	0.00 m ²	上階の床高さを延長し天井下面から2.1m以上の部分の面積																						
加算する床面積 (C)	不規則な吹抜けの相当床面積	0.00 m ²	高い天井でFL+2.6m以上部分の容積/2.6m																						
	小屋裏の相当床面積	0.00 m ²	室内に通じる小屋裏容積/2.6m																						
	基礎内の相当床面積	18.80 m ²	基礎断熱の床下容積/2.6m																						
	その他の相当床面積	0.00 m ²	出窓等の容積/2.6m																						
測定対象とした建物の実質延べ床面積 S1	131.41	m ²	S1=(A)-(B)+(C)																						
建物の外皮内の気積 Vt	341.66	m ³	50Pa時の漏気回数を求めるときに記入のこと																						
気積から求めた建物の実質延べ床面積 S2	131.41	m ²	S2=Vt/2.6																						
計算に用いる建物の実質延べ床面積 S	131.41	m ²	S1とS2の大きい方の値																						

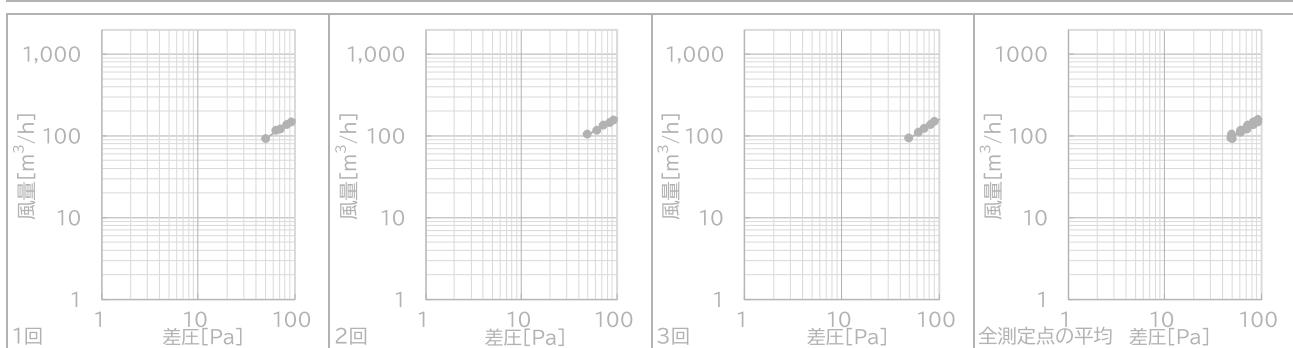
住宅の気密性能試験結果（2）

測定者・測定方法・測定装置			
事業所	[REDACTED]	事業所登録番号	1980 ①
所在地	[REDACTED]	電話	[REDACTED]
測定者	[REDACTED]	登録番号	07883-26 ②
測定方法	(財)建築SDGs推進センター「JIS改正対応 住宅の気密性能試験方法」(2023年4月) JIS A 2201 送風機による住宅等の気密性能試験方法による。 流量及び圧力の測定は、あらかじめ校正した測定装置を使用し、減圧法にて行なう。		
測定装置	住宅気密測定装置 アメニティエアロテスタ 型式KNS-5000C 株式会社コーエー		
試験日時	2025年6月24日 9:58	～ 11:45	天候
測定時の環境	室内温度 外気温度 気圧	23 °C 30 °C 982 hPa	風速 風向(主風向) 風速測定位置

K POINT

- ① 事業所登録番号
- ② 測定者登録番号
- ③ 相当隙間面積

データ測定回 測定点	1回	2回	3回	全測定点の平均			
	差圧△P	風量Q	差圧△P	風量Q			
各圧力差△P (Pa)における通気量Q(m ³ /h)	1	50.0	92	49.2	104	48.9	93
	2	63.7	116	61.5	116	61.7	111
	3	70.9	120	72.1	135	70.9	123
	4	82.7	136	83.7	146	82.3	136
	5	92.8	146	92.0	157	90.1	149
隙間特性値 n (1≤n≤2)	[-]	1.36	1.49	1.32	1.39		
回帰式の決定係数R ² (R ² ≥0.98)		0.9856	0.9888	0.9980	0.9414		
データの信頼性							
通気率 α [m ³ /h·Pa ^{1/n}]		5.3	7.5	4.9	5.8		
Q _{9.8} : 圧力差9.8Pa時の通気量 [m ³ /h]		28.3	34.8	27.6	30.1		
係数 b : 外気温で決まる空気密度ρの係数		0.677	0.677	0.677	0.677		
総相当隙間面積 αA : αA=Q _{9.8} ×b [cm ²]		19.10	23.60	18.70	20.40		
実質延べ床面積 S [m ²]		131.41	131.41	131.41	131.41 ③		
相当隙間面積 C : C=αA/S [cm ² /m ²]	カッコ内は四捨五入前の参考値	0.1 (0.145)	0.2 (0.180)	0.1 (0.142)	0.2 (0.155) ④		
50Pa時の漏気回数 ACH [回/h]		0.3	0.3	0.3	0.3		
△P=50Pa時の通気量 [m ³ /h]		94	104	95	97		



測定結果添付欄

住宅の気密性能試験結果 (3)

複数回測定した際は下記に記録を残すことができる。

データ測定回 測定点	1回		2回		3回		4回		
	差圧△P	風量Q	差圧△P	風量Q	差圧△P	風量Q	差圧△P	風量Q	
各圧力差△P (Pa)における通気量Q(m ³ /h)	1	50.8	99	50.2	91	50.0	92	49.2	104
	2	64.2	112	62.4	98	63.7	116	61.5	116
	3	73.7	126	73.7	115	70.9	120	72.1	135
	4	81.1	124	81.6	122	82.7	136	83.7	146
	5	92.9	144	92.6	141	92.8	146	92.0	157
隙間特性値 n (1≤n≤2)	[-]	1.69		1.40		1.36		1.49	
回帰式の決定係数R ² (R ² ≥0.98)		0.9556		0.9589		0.9856		0.9888	
通気率 α [m ³ /h・Pa ^{1/n}]		9.6		5.3		5.3		7.5	
Q _{9.8} :圧力差9.8Pa時の通気量 [m ³ /h]		37.1		27.2		28.3		34.8	
係数 b :外気温で決まる空気密度ρの係数		0.677		0.677		0.677		0.677	
総相当隙間面積 αA :αA=Q _{9.8} ×b [cm ²]		25.10		18.50		19.10		23.60	
相当隙間面積 C :C=αA/S [cm ² /m ²]		0.2 (0.191)		0.1 (0.141)		0.1 (0.145)		0.2 (0.180)	
測定メモ		n値、規定範囲		n値、規定範囲					

データ測定回 測定点	5回		6回		7回		8回	
	差圧△P	風量Q	差圧△P	風量Q	差圧△P	風量Q	差圧△P	風量Q
各圧力差△P (Pa)における通気量Q(m ³ /h)	1	48.9	93					
	2	61.7	111					
	3	70.9	123					
	4	82.3	136					
	5	90.1	149					
隙間特性値 n (1≤n≤2)	[-]	1.32						
回帰式の決定係数R ² (R ² ≥0.98)		0.9980						
通気率 α [m ³ /h・Pa ^{1/n}]		4.9						
Q _{9.8} :圧力差9.8Pa時の通気量 [m ³ /h]		27.6						
係数 b :外気温で決まる空気密度ρの係数		0.677						
総相当隙間面積 αA :αA=Q _{9.8} ×b [cm ²]		18.70						
相当隙間面積 C :C=αA/S [cm ² /m ²]		0.1 (0.142)						
測定メモ								

データ測定回 測定点	9回		10回		11回		12回	
	差圧△P	風量Q	差圧△P	風量Q	差圧△P	風量Q	差圧△P	風量Q
各圧力差△P (Pa)における通気量Q(m ³ /h)	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
隙間特性値 n (1≤n≤2)	[-]							
回帰式の決定係数R ² (R ² ≥0.98)								
通気率 α [m ³ /h・Pa ^{1/n}]								
Q _{9.8} :圧力差9.8Pa時の通気量 [m ³ /h]								
係数 b :外気温で決まる空気密度ρの係数								
総相当隙間面積 αA :αA=Q _{9.8} ×b [cm ²]								
相当隙間面積 C :C=αA/S [cm ² /m ²]								
測定メモ								